

公 表 日

平成28年 4月 1日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成28年度雲仙岳溶岩ドーム観測調査業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 雲仙復興事務所長 植野 利康 長崎県島原市南下川尻町7-4
契約年月日	平成28年 4月 1日
契約業者名	(株) パスコ
契約業者の住所	長崎県長崎市興善町2-24
契約金額	56,700,000円(税込み)
予定価格	57,294,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	長崎県島原市
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成28年 4月 1日
履行期間(至)	平成29年 3月31日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約課程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成28年度 雲仙岳溶岩ドーム観測調査業務
2. 履行場所 長崎県島原市
3. 契約の相手方 住所：長崎県長崎市興善町2番24号
会社名：(株)パスコ 長崎支店
電話：095-821-6921
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

現在、雲仙岳山頂には溶岩ドームと呼ばれる不安定な岩塊群が堆積している。本業務では、砂防工事の安全確保と下流の人家等の警戒避難を支援するため、溶岩ドームの変状調査・観測を実施するとともに観測結果の評価を行うものである。

2) 業務の内容

主な業務内容は下記のとおりである。

- (1) 地上型合成開口レーダー観測
- (2) 光波測距の観測・解析
- (3) 定時及び緊急時における溶岩ドーム観測
- (4) 溶岩ドーム東側の崩落堆積域の観測・解析
- (5) 平成新山山頂の観測・解析
- (6) 溶岩ドームの現地調査
- (7) 溶岩ドームの上空調査
- (8) メカニズムの検討
- (9) 植生繁茂地におけるGBSARによる観測の実施
- (10) 溶岩ドームの移動を観測する恒久的なシステム化の検討

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を26者が入手(ダウンロード)し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する1者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、行程表、その他」の「その他」における「有益な代替案」が記載されていること、及び特定テーマの「合成開口レーダー観測精度向上及び溶岩ドーム観測に関する新たな観測手法の提案」に対する技術提案について「提案内容を裏付ける類似実績」について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

雲仙復興事務所 調査課長